

日サ協発第 220134 号  
2022 年 8 月 31 日

関係各位

公益財団法人日本サッカー協会

国際サッカー評議会(以下、IFAB)から 2022 年 7 月 27 日付回状第 26 号をもって、オフサイドの判定に関わる「意図的なプレー」と「ディフレクション」との違いに関するガイドラインの明確化について通達されました。

今回の通達は、オフサイドに関わる守備側競技者のプレーが「意図的なプレー」であったか否かという注目される状況が世界的に見受けられたため、IFAB が FIFA と協議の上、判断基準を示すことで明確化したものです。したがって、適用日が示される改正とは違って即時有効となります。しかしながら、競技およびプレーの結果に影響を及ぼす内容でもあることから、競技者、監督/コーチそして審判員、そして競技に関わる人々が理解した上で運用されることが必要となります。

下記について、各協会、連盟等において、加盟クラブ、チーム、審判員等関係者に周知された上で、プレー、指導、そしてレフェリングに携わっていただきたく、お願い申し上げます。

なお、本協会のホームページに掲載される今回の明確化についての説明用映像(9月初旬掲載予定)も合わせて確認していただくよう、併せてお願い申し上げます。

## 記

### 「意図的なプレー」と「ディフレクション」との違いに関するガイドラインの明確化について

これまでにオフサイドに関して注目を浴びた状況が多くあったこと、また、守備側競技者が動いてボールに触れたすべてのケースにおいて、オフサイドポジションにいた競技者が「オンサイド(オフサイドで罰せられない)」となるわけではないという考えがあることから、IFAB と FIFA は、サッカー関係のステークホルダーと協議し、“意図的なプレー”と“ディフレクション(ボールが競技者に当たり方向が変わる)”の違いについてのガイドラインを明確にした。

第 11 条の関係条項は、次のように規定している(強調部分を太字で表示):

### 2. オフサイドの反則

ボールが味方競技者によってプレーされたか触れられた瞬間にオフサイドポジションにいる競技者は、次のいずれかによってそのときのプレーにかかわっている場合にのみ罰せられる。

(...)

- その位置にいることによって、次の場合に、ボールをプレーして利益を得る、または相手

公益財団法人 日本サッカー協会

〒113-8311 東京都文京区サッカー通り(本郷 3-10-15) JFA ハウス  
Tel. 050-2018-1990 Fax. 03-3830-2005  
www.jfa.jp

競技者を妨害する。

- ・ ボールが、ゴールポスト、クロスバー、審判員もしくは相手競技者からはね返った、またはそれらに当たって方向が変わってきた。  
(…)

オフサイドポジションにいる競技者は、相手競技者が意図的にプレーしたボールを受けたとき、意図的なハンドの反則を犯した場合も含め、利益を得ているとはみなされない。ただし、意図的なセーブからのボールを除く。

あえて第11条を改正する必要はないが、サッカーが求めることを反映するため、「意図的なプレー」と「ディフレクション」の違いについてのガイドラインを下記のとおり明確化した。

「意図的なプレー」とは、競技者がボールをコントロール下において、次のプレーができることである。

- ・ ボールを味方競技者にパスする、または、
- ・ ボールを保持する、または、
- ・ ボールをクリアする(例えば、ボールをけて、またはヘディングして)

これは、競技者がコントロール下にあるボールをパスする、保持しようと試みる、または、クリアすることがうまくいかなかったり、失敗したりした場合であっても、ボールを「意図的にプレーした」という事実を無効にするものではない。

競技者がボールをコントロール下に置いていたことで、結果的に「意図的にプレーした」ことを示す指標として次の基準が適切に使われるべきである。

- ・ ボールが長く移動したので、競技者はボールをはっきりと見えた
- ・ ボールが速く動いていなかった
- ・ ボールが動いた方向が予想外ではなかった
- ・ 競技者が体の動きを整える時間があった、つまり、反射的に体を伸ばしたりジャンプせざるを得なかったということでもなく、または、かろうじてボールに触れたりコントロールできたということではなかった
- ・ グランド上を動いているボールは、空中にあるボールに比べてプレーすることが容易である

競技規則を改正しないが、「意図的なプレー」のガイドラインを明確にしたので、審判員またサッカーのステークホルダーの方々にご説明されるようお願いしたい。「意図的なプレー」と「ディフレクション(「意図的なプレー」ではない)」に関するビデオ映像は、次の URL にある。

<https://red.fifa.com/play/collection/13010/Law11-Offside:deliberateplayanddeflection?cId=16&itemId=12995>

ご理解いただき感謝するとともに、疑義については、ご遠慮なく連絡いただきたい。

以上

国際サッカー評議会  
事務局長 ルーカス・ブラッド